

議会だより



平成24年 8月

NO 156

最盛期のりしり昆布漁 (7月中旬)

第2回定例会

平成24年一般会計などの補正予算を可決	2 ~ 4
一般質問 郷土芸能（南浜獅子神楽）の伝承活動支援は	4
行政報告 利尻空港の利用状況など 6件	5

第2回定例会

●会 期 6月22日

●出席議員 9名

一般会計と 港湾整備事業特別会計の補正予算を可決

第2回定例会は、6月22日開催されました。

1人の議員が一般質問を行い、専決処分の承認を求めること、補正予算、条例の制定・改正などが提案され、慎重な審議の結果、いずれも原案どおり承認、可決しました。

補正予算で追加した主な事業

【一般会計】

鴛泊港仮設駐車場整備事業・・・・・・・・・・564万1千円
自治会館整備事業補助・・・・・・・・・・246万9千円
映画「北のカナリアたち」上映報償など・・・・500万円
漁業後継者・商工業後継者対策など・・・・104万3千円

【港湾整備事業特別会計】

鴛泊港仮設ターミナル建設事業・・・・・・・・・・564万6千円を減額

3月30日に町長が専決処分した 平成23年度補正予算の主なもの

【一般会計で追加した主な事業】

市町村備荒資金組合納付金・・・・・・・・・・1億3500万円
町除雪業務委託料・・・・・・・・・・997万3千円
空港施設管理備品購入・・・・・・・・・・1420万円
空港除雪業務委託料・・・・・・・・・・1080万円

【一般会計で追加した主な歳入】

地方交付税・・・・・・・・・・1億2052万5千円
国庫補助金（除雪事業費）・・・・・・・・・・800万円
利尻空港管理委託金・・・・・・・・・・2500万円
たばこ消費税・・・・・・・・・・293万5千円

【港湾整備事業特別会計】

バリアフリー対応旅客施設建設工事・・・・・・・・・・378万9千円を減額

補正予算

鴛泊港仮設駐車場整備事業など

一般会計に1675万7千円を追加

一般会計は、映画「北のカナリアたち」の上映報償費、自治会館整備事業補助、鴛泊港仮設駐車場整備など、1675万7千円を追加しました。

補正予算で追加した主な事業は左表のとおりです。

専決処分の質疑

Q 藤井議員 たばこ税増額補正の要因と消費本数の前年対比は。

A 総務課長 たばこ税の税率が上がったことによるものです。本数の前年対比は、22年度は758万6455本、23年度は704万4121本で54万2334本減っています。

Q 藤井議員 都市計画公園管理費での燃料費の増額補正の要因は。

A 産業建設課長 温泉プールの水温を上げるために増設した熱交換機の稼働によるボイラー燃料費です。

Q 俵谷議員 平成23年度事業である鴛泊市街地再配置計画策定業務について、事業年度が終了しても成果品が完成していないことは、事業が完了していないことであり自治法上事業の繰越手続きが必要ではないか。

A 産業建設課長 本事業は未完成ですが、業者の都合で完成できないという事ではなく、説明会を開催しても欠席者があり、関係者の都合で完成に至らなかったことから、確約書を徴収し支出処理を行いました。

専決処分

3月30日と31日に専決処分した次の3件は、いずれも原案のとおり承認しました。

▽町税賦課徴収条例の一部改正

〔改正内容〕

地方税法の一部改正及び震災特例法に基づき、町民税並びに固定資産税に係る税負担軽減措置、負担調整措置、特例措置の追加等の一部改正。

▽平成23年度一般会計補正予算(第7号)

〔補正内容〕

補正額1億631万6千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ47億9840万7千円とする。

▽平成23年度港湾整備事業特別会計補正予算(第3号)

〔補正内容〕

補正額378万9千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ3億1927万3千円とする。

条例改正

▽利尻富士町公共施設整備基金条例の制定

〔制定内容〕

利尻富士町における公共施設の整備と適切な維持管理に要する経費の財源に充てるもの。

質疑

Q 俵谷議員 設置目的にある公共施設の対象範囲は。また、繰替運用は自由に取崩しをして運用可能なのか。

A 総務課長 地方自治法で意味する公の施設の公共施設と捉えています。繰替運用についてはいつでも取り崩して資金として使うことは可能です。

Q 再質疑 公の施設という広義のものとなく、将来更新しなければならぬ公共財産老朽化により補修すべき施設を附則で明示すべきでは。

A 総務課長 施設によって財源手当に補助金・起債を使える施設がありますが、単費によるものもあります。応急措置や維持補修の関係で必要な場合に使えるということから、固定しないで自治法上の公の施設を引用したい。

Q 再々質疑 漠然とした広義の条例解釈ができると自由に繰替運用ができる基金になり、町財政の補填のための基金に積立てるのかという疑問

が生まれるが。

A 副町長 地方公共団体の基金条例の条文設定には準則(準じた規則)があり、自然的にこのような条文になります。この基金の公共施設の範囲では、限られた大きな建物等になるものと感じています。基金への積立ては、町の財産の売買等によるものを積立、ある程度の額になった場合必要が出た場合に資金としますが、通年上は繰替運用はしません。災害等突発的な事件・事故が起きて、町の財源が足りない場合には取崩し運用をします。

Q 藤井議員 基金の規模と毎年どの程度予算計上し積立てるのか。

A 副町長 基金の規模の想定している額はありません。毎年決まった金額を一般会計から積立てることは考えていません。

Q 黒川議員 納付率をどの程度見込んだの改正案か。

A 福祉課長 23年度の納付率で積算し、医療給付分94・9%、介護納付金95・9%、後期高齢者支援金94・7%で試算しています。

▽印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部改正

〔改正内容〕

出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国の管理に関する特例法の一部改正により外国人

登録法が廃止されたことによる、印鑑の登録及び証明に関する条例、手数料条例、公共下水道条例の一部を改正するもの。

▽国民健康保険条例の一部改正

〔改正内容〕

国民健康保険の被保険者に係る、所得割額、均等割額、世帯別平等割額の改正。後期高齢者支援金等課税額の所得割額、均等割額、世帯別平等割額の改正。介護納付金課税被保険者の所得割額、均等割額の改正。

質疑

Q 俵谷議員 標準家庭での引き上げ額は。

A 福祉課長 8・4%の引き上げで、1人当たり9814円、1世帯あたり1万7394円になります。

Q 黒川議員 納付率をどの程度見込んだの改正案か。

A 福祉課長 23年度の納付率で積算し、医療給付分94・9%、介護納付金95・9%、後期高齢者支援金94・7%で試算しています。

その他

▽鴛泊・鬼脇辺地に係る総合整備計画の変更

〔変更内容〕

鴛泊、鬼脇辺地での実施した事業費の変更及び実施する事業の追加による変更。

補正予算

▽平成24年度一般会計補正予算(第1号)

〔補正内容〕

補正額1675万7千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ39億8975万7千円とする。

▽平成24年度港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)

〔補正内容〕

補正額564万6千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ2億1135万2千円とする。

財産の取得契約

▽ロータリー除雪車の取得について、指名競争入札による契約を締結する。

契約金額 2557万8千円

契約の相手方
 稚内市はまなす3丁目3番
 11号 吉川自動車工業株式会
 社 代表取締役 竹内 仁

報 告

㈱利尻島振興公社の経営状況の報告

利尻島振興公社の株主総会と取締役会が6月15日に開催され23年度決算と事業計画が議決・了承を得ました。

営業収入は9千843万8千円、営業費用は1億793万2千円で損失額は949万4千円となり、前期繰越金利益余剰金211万6千円と別途積立金700万円を取崩して充当し、差し引き37万7391円が当期純損失(当期末赤字)となりました。

第14期は、北海道エアシテムが通年運航、全日本空輸が6月から9月までの運航が決定していることから代理店手数料の増、原価償却費が減額となるため当期純利益は50万7千円の黒字を見込んだ計画にしていることの報告がありました。

行政報告

第2回定例会において、町長より「利尻空港の利用状況について」ほか4件が、教育長より「鬼脇地区小中学校のあり方について」行政報告がありました。

る予定ですので、これに沿って本町も住民割引を充実させて、搭乗率の向上を図りながら航空路線の維持・存続に貢献できないものか検討している段階です。

◎温泉保養施設・北のしーま入浴料の割引を実施

6月1日から、1ヶ月に7日以上の入浴者に対して「入湯パス券」を発行することにしました。

これまでの入浴パス券は一ヶ月以内の利用者に限り、半月券と一ヶ月券を発行していたものを一ヶ月券を廃止し、温泉保養施設や北のしーま利用者に対して、「入湯パス券」を購入した日から一ヶ月以内に7日間または15日間利用することによって、1回あたり400円で入浴できるようにして利便性を図ることにしました。

◎平成23年度一般会計、各特別会計の決算見込額

一般会計は、2669万6千円が黒字となります。
 特別会計(10会計)合計では、1千281万2千円の赤字となり、合計では3千950万8千円を翌年度に繰越すこととなります。

◎北海道知事が来島

高橋北海道知事が6月16日来島し2年ぶりの行政視察となりました。

防災拠点施設である「りぶら」湾内の水力発電所、オタトマリ沼を視察し、利礼3町長との懇談会では、篤泊市街地道々拡幅事業の早期完成、篤泊港フェリーターミナルの国庫補助対象外施設(臨港公園や駐車場整備)に地域づくり政策交付金の配分、離島航空路線の搭乗率向上のために更なる離島住民割引を実施した場合、北海道として国の対象外経費に対して支援できる施策を講じて頂くよう要望しました。

◎離島振興法の一部を改正する法律及び過疎地域自立促進特別措置法が可決成立

時限立法である離島振興法は平成24年度で期限切れなることから、地方6団体で強力に改正延長を国に対して要望活動を展開していましたが、国会に上程され全会一致で可決成立しました。

改正内容の主なもの、離島活性化交付金事業、人流、物流コストの低廉化策、法案の内容に見合う予算の確保等となっており、法律の期限は平成35年3月31日までの10年

間となっています。

現在の過疎地域自立促進特別法は、平成21年度から平成27年度までの6年間のみ延長された法律で、過疎地域に指定されている市町村から更なる延長を要望していたところですが、今国会で5年間の延長が全会一致で可決されました。

◎鬼脇地区小・中学校のあり方について(教育長)

昨年度、利尻小学校・鬼脇中学校・鬼脇保育所のPTAが中心となり「鬼脇地区の学校のあり方を考える会」を充足し、アンケートや保護者の意見交換を行い協議・検討の結果、将来を見据えた鬼脇地区の子ども達の健やかな成長と安全・安心な学校生活のためには、小中併置校の建設が望ましいとのことで意見が一致したこと、鬼脇地域活性化推進協議会との懇談と鬼脇地区説明会を開催し地域の方々にも理解と了承を得て、鬼脇地区の学校のあり方を考える会、鬼脇地域活性化推進協議会、鬼脇地区自治会長連絡協議会の連名による要望書が町長宛に提出されました。

教育委員会としては要望書の内容を十分尊重し、保護者、地域と協議を重ね新校舎建設に向けて取り組んで参りたい。

俵谷芳光議員 文化財保護

南浜獅子神楽の伝承活動支援は

教育長 保存会の活動に対しては積極的に支援をしていきたい



議員 本町に伝わる唯一の郷土芸能として南浜獅子神楽があり、昭和43年に本町の無形文化財に指定されていますが、継続して活動できる支援体制が整っておらず担い手不足に陥っている状況です。一時的には学校教育の一環として伝承の気運がありましたが見守り・生徒の減少で教育現場から離れつつあります。今は、若獅子会の幹部によって以前指導した若者達に呼びかけ組織の再生を図ろうと努力中ですが活動資金の捻出に苦慮している状況です。

教育長 伝承文化は発祥の地との交流を以って資質の向上を図られ伝承が継続されるものです。本町唯一の伝承文化の継承に資金面を含めた支援体制の確立を図るべきだと考えますので、教育長の見解を尋ねます。

保存会への補助金は減額しながらも交付してきましたが、繰越金があること活動が休止状態にあることから現在は交付していませんが、元の若獅子会である新たな保存会メンバーが中心となり伝承活動を続け、地域伝統芸能継承者育成事業の助成を受けながら後継者の育成に努めています。保存会では組織を再生し活動を再開していますので、今後、活動資金が不足するようであれば補助金の再交付などできる限りの支援により文化財の保存・伝承に努めます。

再質問 郷土芸能に関する伝承は先人の方々から受け継ぎ地域に根ざしてきた文化を後世まで伝えていくのが主眼です。郷土芸能はきちんとした枠組みの支援体制があつてこそ組織内で計画を立て行動に移すこととなります。日々の練習、後継者の育成、コミュニケーションの中にも活動資金が必要ですので、毎年計画的に支援しなければ活動が鈍くなります。

伝承芸能は今日まで引き継がれている重要な文化資源です。ですから、伝承文化の継承活動には、無形文化財の保護という目的で、計画的な支援の中



で一定の額を毎年支援していかなければ伝承文化活動は熟成しないと考えますが。

教育長 保存会も新しい組織になりましたので、会員の増員や磐石な組織体制、後継者の育成を含む保存会の活動に対しては積極的に支援をしていきたい。また、これからの活動状況や発祥の地との交流を含む事業内容に応じた補助についても考えたい。

質疑・質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局にお問い合わせ下さい。

意見書

※次の意見書は、第2回定例会で原案のとおり可決し、関係行政庁へ送付しました。

◎国の出先機関改革についての意見書

委員会レポート

5月31日
総務民教産建常任委員会

総務民教産建常任委員会は、5月31日に開催し、平成23年度に実施した次の事業の現況調査を行いました。

野中船揚場整備工事、恵比寿橋改良工事、郷土資料館改修工事、ペシ岬遊歩道整備工事、北麓野営場整備工事、鷺泊市街再配置計画策定業務。

常任委員会の報告内容は次のとおりです。

○ペシ岬遊歩道整備工事

遊歩道の敷石の一部に突起部と段差があり、歩行者の安全確保に支障が出るものと予想されるため、利用者の安全面への配慮から、施工方法についての説明板の設置が必要と考えられる。また、重要な景観スポットであることから、「利用者の声」や観光関係者からの情報収集が必要と判断し、継続調査としたい。

○鷺泊市街地再配置計画策定業務

再配置計画の基本となる地権者の意向調査を行う個別説明会では、欠席者があり再配置計画が成果品となっていないが、道々拡幅事業の進捗やまちづくり計画の関連から早急に計画を策定すべきである。

議会目録

5月

31日 第2回総務民教産建常任委員会

6月

2日 第12回利尻島一周悠遊覧人G前夜祭

3日 鷺泊小学校運動会

5日 北海道離島振興町村議会議長会並びに北海道町村議会議長会定期総会及び議長・事務局長研修会（札幌市、議長、事務局）

7日 北海道離島振興町村議会議長会（行政調査（宮城県女川町、南三陸町、議長、事務局）

10日 鷺泊中学校運動会、鬼脇保育所・利尻小学校・鬼脇中学校合同運動会

14日 利尻富士町戦没者追悼式

15日 議会運営委員会

7月

15日 会（株）利尻島振興公社第13回定時株主総会

16日 高橋はるみ知事来島 会食懇談会

17日 鷺泊保育所運動会

22日 第2回定例町議会

3日 北海道町村議会議員研修会（札幌市、議長外議員、事務局）

7月

4日 映画「北のカナリアたち」感謝の夕べ

20日 全国離島振興市町村議会議長会理事

25日 会・総会（東京都、議長）

29日 第5回広報広聴特別委員会

第40回鬼脇地区北海島まつり、海上交通安全並びに大漁祈願祭（議長外各議員）

議会の予定

9月 議会改革調査・検討特別委員会
総務民教産建常任委員会
議会運営委員会
第3回定例会

※議会の予定は変更になる場合があります。議会事務局にご確認下さい。

編集後記

いよいよ夏到来、待ちに待った季節町民みなさま、どうお過ごしでしょうか。

漁師さん達はウニ漁・昆布漁と活発な海の活動期と共に、観光産業に携わる方々には、ようやく観光客の来島がづき多忙な毎日を送っている事と思います。

また、町民あげての「北のカナリアたち」の撮影協力により、ロケも無事終了。あとはすばらしい作品になる事を祈りつつ、11月の公開が待ち遠しい思いでもあります。

一方、梅雨前線による九州北部地方での豪雨による被害報道には胸が痛みますし、毎週金曜日に行われる原発再稼働反対を声高に叫ぶ首相官邸周辺での大規模デモ等様々な出来事が毎日、新聞・テレビ等で知ることになります。政治も経済も国民全員が落ち着いた生活がおくれるよう願うばかりです。

これから夏のひとときを元気に過ごして下さい。

議会広報広聴特別委員会

委員長 田村 修
副委員長 米谷 篤
委員 前田 芳久
委員 伊藤 信勝
委員 黒川 健一